

9 後志の資源・エネルギー

RESOURCES&ENERGY

道内最古の炭鉱（泊村・茅沼炭鉱）や道内初の水力発電所（岩内町・岩内水力発電所）で知られる地域であり、道内唯一の原子力発電所がある。近年は、風力・太陽光・バイオマス・中小水力・雪氷冷熱など、再生可能エネルギー導入の取り組みが進められている。

後志の資源と地域エネルギーの有効利用

後志のエネルギーの歴史

- 道内最古の炭鉱（泊村・茅沼炭鉱）が開かれ、道内初の水力発電所（岩内町・岩内水力発電所）や原子力発電所（泊村・泊原子力発電所）を有する地域。

後志の新エネルギーの導入

- 寿都町は全国の自治体で初となる風力発電施設を設置。
- その他の市町村においても風力発電、太陽光、中小水力、雪氷冷熱など、再生可能エネルギー導入に向けた取り組みが行われている。
- 令和5年5月12日に岩宇・南後志地区沖、島牧沖が再エネ海域利用法による「有望な区域」に整理された。
- 令和6年1月1日、石狩湾新港港湾区域内で洋上風力による商業運転を開始。

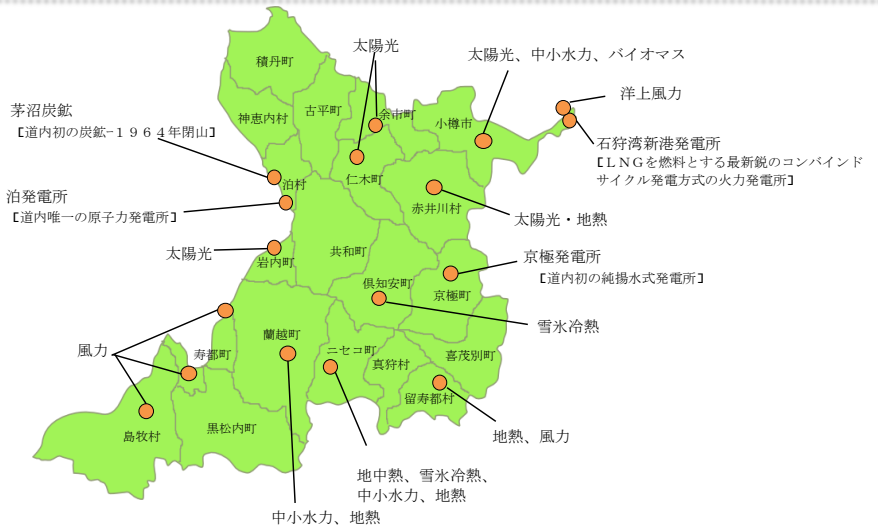
後志の主な資源・エネルギー



道内初の水力発電所（岩内町）



風力発電所（蘭越町・寿都町）



北海道電力（株）泊発電所

- 北海道内唯一の原子力発電所
- ＜運転開始時期＞
 - 1号機（57万9千キロワット）1989年6月
 - 2号機（57万9千キロワット）1991年4月
 - 3号機（91万2千キロワット）2009年12月
- ※1～3号機とも運転を停止中
- 2011年3月に発生した福島第一原子力発電所事故後に設けられた新規規制基準に基づき、原子力規制委員会による適合性の審査が行われている。



泊発電所全景

北海道電力（株）京極発電所

- 北海道内初の純揚水式発電所
- ＜運転開始時期＞
 - 1号機（20万キロワット）2014年10月
 - 2号機（20万キロワット）2015年11月
 - 3号機（20万キロワット）2033年度以降



←京極発電所全景



上部調整池全景



京極ダム全景

北海道電力（株）石狩湾新港発電所

- LNGを燃料とする最新鋭のコンバインドサイクル発電方式の火力発電所
- ＜運転開始時期＞
 - 1号機（56.94万キロワット）2019年2月
 - 2号機（56.94万キロワット）2034年12月予定
 - 3号機（56.94万キロワット）2037年12月予定



発電所外観



発電所内部